

優秀賞

ありがとう

茨城県 東海村立村松小学校一年 星野 優月

「わすれものしたのかな？」

わたしのママのおなかにいたあかちゃんは、おそらにかえりました。かぞくでなみだをながしたことをわすれられません。

一ねんご、あたらしいあかちゃんがきてくれました。おなかのあかちゃんが、いもうとだときいて、うれしくてとてもワクワクしました。

あるひ、わたしとおとうとがねていたら、

「びょういんいくぞー。」

と、あわてたパパにおこされました。ママは、おなかがいたそうでした。みんなでくるまにのって、びょういんにいきました。コロナで、びょういんにはいれなくて、いりぐちでママとバイバイをして、そのあと、ビデオでんわをつないでママのしゅっさんをリモートでおうえんしました。

「ひっひっふー。」

「がんばれー。」

あかちゃんがげんきに生まれることをたくさんねがって、のどがいたくなるくらいおうえんしました。

「おぎゃー、おぎゃー。」

げんきいっぱいのおなごえがして、ちっちゃくて、かみのけがないけど、とてもかわいい、いもうとがうまれました。

ママがにゅういんちゅう、パパとわたしとおとうと、はじめての三にんでのるすばんはちよっぴり、きんちょうしたけど、がよろしに一にちのよていをかいて、みんなできょうりよくして、がんばりました。

「ただいま。」

わたしががっこうからかえると、

「おかえり。」

ママのこえがしました。そのあと、あかちゃんの

なごごえがして、いそいでいえのなかにはいると、ずっとずっとあいたかった、いもうとがいました。あかちゃんはずっとみていてもあきないし、かわいくて、えがおをまもってあげたいとおもいました。

わたしは、おそらにかえったあかちゃんがいもうとと、わたしたちかぞくをであわせてくれたのかな？とおもいます。

ママのおなかにあかちゃんがきてくれてから、うまれてくるまで、たのしみもあるけどかなしいことがおこるといふこともしりました。

おそらのあかちゃん、あえなかつたのはかなしいけど、ありがとう。おとうとや、いもうとのおてほんになるような、おねえちゃんになるからね。おそらのうえからみていてね。

